

## この間（7月～12月）のできごと

### 7月1日 1万分1火山基本図3面を刊行

国土地理院は、1万分1火山基本図「諏訪之瀬島」,「薩摩硫黄島」(2色刷,四六判),「薩摩竹島」(2色刷,菊判)の3面を刊行した。

### 7月5～7日 全国測量技術大会2006に参加

パシフィコ横浜において、全国測量技術大会2006(主催:(社)日本測量協会ほか3団体)が開催された。

国土地理院からは、「空間情報社会を支える測量行政」をテーマとした特別講演会で矢口院長が講師を務めたほか、4課題においてパネラーとして参加した。

期間中、会場には約22,000名の入場者があった。

### 7月13・14日 IT CITY MESSE in GIFUに参加

岐阜メモリアルセンターにおいて、IT CITY MESSE in GIFU(主催:岐阜県)が開催された。

国土地理院からは、電子国土体験ブースの出展と講演を行った。

2日間で、会場には17,891名の入場者があった。

### 7月14日 第41回海岸昇降検知センター総会を開催

関東地方測量部において、第41回海岸昇降検知センター総会を開催した。

本総会では、海上保安庁海洋情報部、気象庁、国土交通省港湾局、国土地理院及び海岸昇降検知センター事務局より関連業務について、平成17年度事業報告及び平成18年度実施計画の説明・提案が行われ、審議・承認された。

### 7月18日 平成17年度の優良測量業者を表彰

国土地理院は、技術の向上及び円滑な事業の推進に資することを目的として、国土地理院が発注した請負測量作業で、特に優れた成績を収めた測量業者を表彰した。

この表彰により、技術力が磨かれ、測量成果の一層の品質向上につながることを期待される。

### 7月25日～8月2日 北海道火山防災サミット2006 in いぶりを開催

登別市、白老町、苫小牧市などの会場において、北海道火山防災サミット2006 in いぶり(主催:北海道火山防災サミット実行委員会、北海道火山防災サミット胆振地方実行委員会)が開催された。

北海道地方測量部では、実行委員会の主要メンバーとして参加し、火山土地条件図を中心としたパネル展示等を行った。

### 7月28日 平成18年7月豪雨による被災地の空中写真を公開

国土地理院は、平成18年7月豪雨による被災地(九州南部)について、天候が回復した7月27日に海上自衛隊の協力を得て同隊の運航する「くにかぜII」により、緊急の1/15,000カラー空中写真撮影を実施した。

### 7月29日～8月1日 TX沿線フェスタ・イン秋葉原に参加

TX秋葉原駅構内において、TX沿線フェスタ・イン秋葉原(主催:首都圏新都市鉄道(株))が開催された。

国土地理院からは、駅改札フロアに「日本列島空中散歩マップ」(余色立体図)等の展示を行った。期間中、会場には6,300名の入場者があった。

### 7月30日 大規模津波防災総合訓練に参加

徳島県小松島市において、大規模津波防災総合訓練(主催:国土交通省)が開催され、四国地方測量部が参加した。

本訓練は、東南海・南海地震による津波を想定したもので、参加関係機関は60機関を超えた。

### 8月1日 2万5千分1土地条件図3面を刊行

国土地理院は、2万5千分1土地条件図「鳥羽」,「志摩」,「南伊勢」(四六判)を刊行した。

### 8月1日～9月22日 企画展「地図記号わくわく大図鑑」を開催

「地図と測量の科学館」において、企画展「地図記号わくわく大図鑑」を開催した。

本企画展は、2万5千分1地形図の地図記号の全て(161種類)、地図記号のデザインの由来や移り変わりなどを地図、写真、実物によって紹介した。また、平成17年9月に全国の小学生、中学生から募集した新しい地図記号「風車」と「老人ホーム」のデザイン優秀作品の展示等も行った。

### 8月2～4日 平成18年度科学大好き児童生徒育成事業「ミニ博士コース」を開催

茨城県教育委員会主催による、ミニ博士コースが、各研究機関等を会場として実施された。

国土地理院では、「地図ができるまで」をテーマとし、4名の中学生を受け入れ測量・地図作成に関する講義や実習体験を行った。

### 8月3日 1:25,000 デジタル標高地形図(東京都区部)を作成

国土地理院は、東京都区部について土地の詳細な形状を一目で理解できる地図として「1:25,000 デジタル標高地形図(東京都区部)」(四六判)を作成した。

デジタル標高地形図は、「数値地図5mメッシュ(標高)」を用いて、高い部分を茶色の暖色系、低い部分を青色の寒色系で彩色し、さらに立体感を与えるために、陰影を加えて表現した陰影段彩図と2万5千分1地形図を重ねて作成した。

### 8月3・4日 地図・みち・海のフェア2006を開催

広島市の紙屋町地下街シャレオ中央広場において、地図・みち・海のフェア2006(主催:地図・みち・海のフェア2006実行委員会)が開催された。

中国地方測量部は、「地図で見る広島の変遷」、「測量体験」等に参加した。

期間中、会場には約2,700名の入場者があった。

### 8月8日 第1回測量行政懇談会を開催

関東地方測量部において、第1回測量行政懇談会を開催した。

本懇談会は、地理空間情報に関する社会情勢及び技術動向を的確に捉え、国土地理院の測量行政の推進に資するため、国土地理院長の私的諮問機関として設置するもので、学識経験者13名で構成されている。

### 8月9日 電子国土情報集約システムの一般公開

国土地理院は、電子国土情報集約システムの一般公開を始めた。

本システムは、いろいろな人が集めた場所に関連した情報を集約し、電子地図上に表示することができる、「場所に関連したインターネット掲示板システム」として利用できる。

### 8月11～13日 絵図・古地図でみる讃岐の変遷を開催

高松市市民文化センターにおいて、絵図・古地

図でみる讃岐の変遷(主催:四国地方測量部ほか2団体)が開催された。

四国地方測量部では、国絵図等を所蔵する県内の史料館等の協力を得て、江戸時代の絵図(複製品)及び明治以降に陸地測量部及び国土地理院で作成された地図を「讃岐国、讃岐の街道、讃岐の鉄道、塩田、城下町(高松城、丸亀城)」の5つのテーマについてその変遷を展示した。

期間中、会場には1,165名の入場者があった。

### 8月21日 第169回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第169回地震予知連絡会を開催した。

本会議では、全国の地震活動、地殻変動などに関する観測・研究成果の報告と議論、また、トピックスとして「沈み込み帯における非地震性すべり(1)東海スロースリップ」について報告と議論が行われた。

### 8月23・24日 夏休み子ども見学デーに参加

広く社会を知るため、また各省庁の仕事への理解を深めてもらうため、中央省庁で取り組まれている「夏休み子ども見学デー」に参加した。

国土地理院は、国土交通省の会場に余色立体図を床展示した。

期間中、会場には約2,000名の入場者があった。

### 8月28日～9月1日 国際防災会議(IDRC)に出席

スイスで開催されたIDRCへ、熊谷参事官他1名を派遣した。

本会議は、2005年1月に兵庫県神戸市で開催された国連防災世界会議で採択された兵庫宣言を実現することを目的とした会議で、国土地理院は、測量・地図作成分野における防災面の貢献について会議出席者の理解を得ることに努めた。

### 8月29日 測位・地理情報システムに関する合同部会が国土地理院を視察

与党の測位・地理情報システムに関する合同部会の国会議員及び政府関係者19名が国土地理院を視察された。

議員一行は、VLBIアンテナの見学、電子国土を用いたGISの事例紹介、3次元立体視システム、GEONET等の説明を受けられた。

### 8月30日 平成19年度予算概算要求を提出

国土交通省は、8月31日に平成19年度予算の概算要求を財務省に提出した。国土地理院の要求額は、約144.5億円になる。

国土地理院では、「第六次基本測量長期計画（平成16年度～平成25年度）」の目標達成に必要な経費を要求した。

#### 8月31日 1:25,000 デジタル標高地形図(大阪)を作成

国土地理院は、大阪市周辺について土地の詳細な形状を一目で理解できる地図として「1:25,000 デジタル標高地形図(大阪)」(四六判)を作成した。

#### 8月31日～9月1日 国土地理院防災訓練を実施

国土地理院は、「防災週間」行事の一環として、東海地震を想定した防災訓練を行った。

#### 9月1日 数値地図2500(空間データ基盤)を刊行

国土地理院は、数値地図2500(空間データ基盤)「北陸」を刊行した。

数値地図2500(空間データ基盤)は、地方自治体が整備している縮尺2千5百分1の地図(一般に、「都市計画基図」と呼ばれている。)を用いて作成されており、行政区域・海岸線、道路中心線、鉄道、内水面、建物、基準点等の項目をデジタル化したもので、地理情報システム(GIS)の利用において必要な基盤地図データになる。

#### 9月1日 触地図原稿作成システムの試験公開

国土地理院は、触地図原稿作成システムの試験公開を始めた。

今回試験公開した新しい触地図原稿作成システムは、インターネットにつながっているWindows PC上で、2万5千分1地形図データを基図として、全国のどの地域でも作成することができる。

#### 9月5日 国土地理院防災講演会を実施

国土地理院は、職員の防災意識の高揚及び防災知識の普及・啓発のため、防災講演会を開催した。

本講演会では、元NHK解説委員でNPO法人「防災情報機構」会長及びNPO法人「日本防災士機構」理事の伊藤和明氏を講師に迎え、つくば市内の他の研究機関からの参加者もあり、約170名が聴講した。

#### 9月6～10日 2006伊能大図フロア展 in あさひかわを開催

旭川市大雪アリーナにおいて、2006伊能大図フロア展 in あさひかわ(主催:2006伊能大図フロア展 in あさひかわ実行委員会)が開催された。

本展では、日本全国の伊能大図のレプリカ、松浦武四郎作成の地図、旭川周辺の新旧の地図や写真、10万分1陰影段彩余色立体図等の展示を行った。

期間中、会場には約42,000名の入場者があった。

#### 9月18～22日 第17回国連アジア太平洋地域地図会議(UNRCC-AP)及び第12回アジア太平洋GIS基盤常置委員会(PCGIAP)に出席

タイで開催された第17回UNRCC-APへ、矢口院長(日本代表団長)他5名を派遣した。

本会議は、「ミレニアム開発目標の達成に向けた災害管理及び持続可能な開発に貢献する地理情報の構築」をテーマに、総会、ワークショップ、技術委員会が開催された。

また、同時開催の第12回PCGIAPでは、役員が改選され、6年間事務局長を務めた国土地理院長は副会長に選出された。

#### 9月22日 1:25,000 デジタル標高地形図(名古屋)を作成

国土地理院は、名古屋市周辺について土地の詳細な形状を一目で理解できる地図として「1:25,000 デジタル標高地形図(名古屋)」(四六判)を作成した。

#### 9月30日 「地球地図の学校」日本・フィリピン交流授業を開催

今年の日比国交正常化50周年記念事業の一つとして実施された、「地球地図の学校」では、フィリピンの高校生40名と慶應義塾普通部の生徒15名がお互いの国について学習し、その成果を双方向のテレビ会議システムで意見交換する「交流授業—地球地図から学ぶ日本とフィリピン—」及び先生方による「ネットシンポジウム—IT時代の教育と地球地図」を行った。

#### 10月1日 数値地図25000(行政界・海岸線)平成18年4月版を刊行

国土地理院は、数値地図25000(行政界・海岸線)平成18年4月版を刊行した。

数値地図25000(行政界・海岸線)は、都道府県、市区町村などの行政界や海岸線について、2万5千分1地形図の精度(北方領土については5万分1地形図の精度)を保持したベクトル形式のデータで作成している。

### 10月3日～11月12日 企画展「第7回いばらき児童生徒地図作品展」を開催

「地図と測量の科学館」において、企画展「第7回いばらき児童生徒地図作品展」を開催した。本企画展は、楽しみながら地理や地図を学習できる機会の充実を図ることを目的に開催している。

### 10月7・8日 つくば科学フェスティバルに参加

つくばカピオにおいて、第11回つくば科学フェスティバル（主催：つくば市等）が開催された。国土地理院からは、「地図と遊ぼう」をテーマに日本列島地図一筆描きコーナー、クイズコーナーを出展した。2日間で、約1,500名の参加者が挑戦した。

### 10月16日 電子基準点シンポジウムを開催

広島県民文化センターにおいて、電子基準点シンポジウムを開催した。本シンポジウムでは、電子基準点の紹介を始めとして、衛星測位の現状と展望、防災、安全、福祉、建設等の分野での新展開について紹介した。

### 10月24・25日 平成18年度国土交通省国土技術研究会に参加

都市センターホテル（東京都千代田区）において、平成18年度国土交通省国土技術研究会（主催：国土交通省）が開催された。国土地理院からは、地理地殻活動研究センター地理情報解析研究室 長谷川主任研究官の発表課題である、「国土変遷アーカイブを用いた盛切改変地の抽出」が優秀賞を受賞した。

### 11月1日 2万5千分1集成図を刊行

国土地理院は、2万5千分1集成図「京都」（表4色、裏4色 菊判折図）を刊行した。集成図「京都」の作成にあたっては、政府が取り組んでいる「ビジット・ジャパン・キャンペーン」の推進に、地図の分野で国土地理院が協力するため、日本を代表する「京都」を選定し、京都府・京都市ほかの関係機関の協力も得て、最新情報を盛り込むとともに、地図が分かりやすくなるように表現を工夫した。

### 11月1日 2万5千分1都市圏活断層図を刊行

国土地理院は、2万5千分1都市圏活断層図 阿寺断層とその周辺4面（「萩原」、「下呂」、「坂下」、「白川」）を刊行した。都市圏活断層図は、空中写真の判読によって当

該地区内の活断層を抽出し、既存の調査結果を参考にしながら、断層のずれの方向や詳細な位置などを2万5千分1地形図上にまとめている。

### 11月8～11日 UJNR 地震調査専門部会第6回合同部会を開催

徳島市において、UJNR（天然資源の開発利用に関する日米会議）地震調査専門部会第6回合同部会を開催した。本部会は、日米の専門家が地震調査研究に関する情報の交換、研究者の交流の促進を通じて両国の地震研究、防災に資することを目的に、日本の国土地理院と米国の内務省地質調査所（USGS）が中心となって運営しており、隔年で日米交互に合同部会を開いている。

### 11月9～13日 地図展 2006 in 大阪を開催

大阪市城見ホールにおいて、地図展 2006 in 大阪（主催：国土地理院及び測量・地図関係7団体）が開催された。本地図展では、「時代の記録を見て感じる大阪物語」、「大地を紙に描く技」、「地震の備え あなたの住む土地との対話」、「地図と遊ぼう」、「小中学生が考えた地図」コーナーを設け、また床一面には伊能大図を敷き詰めた。

### 11月13日 防災講演会「宮城県沖地震に備えて」を開催

名取市文化会館において、防災講演会（主催：国土地理院、名取市）を開催した。本講演会は、地域の防災行政担当者や住民の方々に地震の発生メカニズムや行政の対応等について知っていただき、近い将来に予想される宮城県沖地震に対する備えを、平常時から心がけていただくことを目的としている。

### 11月14日 火山噴火予知連絡会に出席

気象庁において、第105回火山噴火予知連絡会が開催され、村上地理地殻活動総括研究官他6名が出席した。本会議では、参加した各機関から全国の火山活動に関する最新の観測結果が報告され、総合的な検討が行われ、国土地理院からは、GPS 連続観測結果を始めとして、全国の火山活動に関する観測の結果を報告した。

### 11月14・15日 国際標準化機構の地理情報に関する専門委員会（ISO/TC 211）の第23回総会に出席

サウジアラビアで開催された、ISO/TC211 第23回総会へ、河瀬情報普及課長を派遣した。

今回の専門委員会では、総会に先立ち13日に行われたワークショップ“Standards in Action”において、「日本におけるISO/TC211に関連する最近のトピック」と題し、我が国の現状を発表した。

総会では、7つの項目について新業務項目として登録されることが決議されたほか、新業務項目提案の審査手続きについて、作業計画維持管理グループが審査を実施する等の改正を行うこと、ISO/TC207（環境管理）との連携を受諾すること、次回総会において用語に関するワークショップをCEN/TC287（欧州標準化委員会の地理情報専門委員会）との共催により開催すること等が決議された。

#### 11月15日 非ActiveX型電子国土Webシステムの運用テストを開始

国土地理院は、非ActiveX型電子国土Webシステムの運用テストを開始した。

本システムは、プラグイン方式でなく、ブラウザだけで電子国土にアクセスできるようにしたものです。これによって、プラグインが使えなかったケースや、Firefox、Operaといったプラグイン型の電子国土Webシステムが対応していないブラウザでも、電子国土にアクセスできるようになった。

#### 11月20日 第170回地震予知連絡会を開催

関東地方測量部において、第170回地震予知連絡会を開催した。

本会議では、全国の地震活動、地殻変動などに関する報告、11月15日に発生した千島列島の地震・津波・地殻変動に関する報告と議論があった。また、トピックスとして「沈み込み帯における非地震性すべり(2) 短期的スロースリップ」等について報告と議論が行われた。

#### 11月21日～12月24日 企画展「国土地理院の南極観測50年」を開催

「地図と測量の科学館」において、企画展「国土地理院の南極観測50年」を開催した。

本企画展は、国土地理院が行ってきた南極観測の歴史を通して、より幅の広い世代の方々に南極観測への理解と関心を深めていただくことを目的に開催した。会場には南極大陸図、観測機器等の展示や第2・3次南極観測隊（1957・58年）にて原田美道氏（元国土地理院長）が撮影した貴重な南極の映像を上映した。

#### 11月28日 第48次南極地域観測隊（夏隊）出発

第48次日本南極地域観測隊（夏隊）の一員として、測地部の白井技術専門職を派遣した。

南極での2ヶ月間に、昭和基地のGPS連続観測点を基準とした高精度な国際地球基準座標系構築のための基準点改測作業と、氷河の後退による地殻の隆起現象の検証を目的に、露岩域の地殻変動と氷床流動の測量を実施する。また、「だいち」を利用した地形図作成のための調査作業も実施し、平成19年3月28日に帰国する予定。

#### 11月28・29日 第3回地球観測に関する政府間会合（GEO-III）に出席

ドイツで開催された、第3回GEO-IIIへ、丸山地理調査部長を派遣した。

本会合では、本年度実施中の96のタスクの実施状況、「構造・データ」、「能力開発」、「科学技術」、「ユーザーインターフェイス」の各委員会及び津波作業部会の報告とともに、2007-2009年作業計画について議論が行われた。

#### 11月29日～1月14日 企画展「2007カレンダー展」を開催

「地図と測量の科学館」において、企画展「2007カレンダー展」を開催した。

本企画展は、主に民間の地図作成機関が地図、衛星画像等を図柄に用いて作成した2007年版カレンダーを展示紹介するもので、20点以上を展示した。

#### 11月30日 1:25,000 デジタル標高地形図（福岡）を作成

国土地理院は、福岡市周辺について土地の詳細な形状を一目で理解できる地図として「1:25,000 デジタル標高地形図（福岡）」（菊判）を作成した。

#### 12月24日 平成19年度政府予算案が決定

平成19年度政府予算案が閣議で決定され、国土地理院の平成19年度予算案総額は約120億円となった。